しらさぎ・無所属クラブ



市長の多選を問う 次期市長選に立候補するのか

江口 ともこ 議員

市長の多選と出馬

問　市長は現在4期目だが、多選の利点と弊害に対する考え、次期統一地方選挙への出馬意向を伺う。

市長　4期目であることの是非に特段の考えはない。出馬意向については、任期を全うすることに全力を尽くしており、それ以外の考えはない。

問　次期も市政を担いたいと考えているのか伺う。

市長　多選については、この場で議論する問題ではない。この任期で行うべきことをしっかり遂行する以外の考えはない。

決算と市の借金

問　地方債現在高が前年度より増加した要因を伺う。

市長　新規の借入額が元金償還額を上回り増加したもので、主な借り入れは、湘南海岸公園龍城ケ丘ゾーン整備・管理運営事業の約11億8千万円である。

車椅子の津波避難

問　ひらつかシーテラスの津波避難施設のエレベーターは、夜間は使用できない。車椅子の人はどのルートで避難するのか伺う。

都市整備部長　公園の出入口から北側に逃げることで、津波の浸水想定区域外へ避難が可能と考える。

問　どこへ避難すればいいのかを伺う。

都市整備部長　津波の浸水想定区域より北側である。



津波避難施設へのエレベーターがあるエントランス棟

駐車場と市の収入

問　ひらつかシーテラスの令和7年度の来園者数と駐車料金収入、事業者の収支、収益予測と実績、市への還元額を伺う。

都市整備部長　来園者数は約37万5千人、駐車料金収入は約780万円、事業者への支払い額は約390万円、事業者の支出額は約200万円、駐車場の収益予測額は約350万円、収益額は約190万円である。収益額が予測額を下回ったため、市への還元はない。



ひらつかシーテラスの駐車場

リトアニア関連本

問　企業版ふるさと納税の寄附を財源に、日本語版リトアニア小百科などを購入するが、一者からの見積もり取得で、適正な価格と判断できるのか伺う。

市民部長　書籍の定価は出版社が決めており、市が判断するものではない。

問　事業の受注者である出版社と、寄附企業の間に利益相反関係が無いことを出版社への確認のみで判断したのか伺う。

市民部長　両者には取り引きがないことを確認済みである。これ以上は確認の方法がないと判断した。

質問情報の無断提供

問　質問情報を無断でほかの議員などへ提供してはならないルールの有無と、整備する考えを伺う。

総務部長　これまでもほかの議員に提供していない。今後も同様に対応する。

地震、水害、猛暑など自然災害への備えと対応を問う

はた 文昭 議員

問　平成19年の夏に博物館で特別展「平塚周辺の地盤と活断層」を開催し、同名の図録が発行された。特別展の再開催と図録の再販を提案するが、見解を伺う。

防災・危機管理監　約20年の最新知見や調査研究を要するため、すぐに再開催することはできないが、長期展示計画の中で検討していく。図録については、博物館のホームページで一部を公開している。

問　県が進めている金目川と、河内川の整備の進捗状況を伺う。

防災・危機管理監　令和7年度に、金目川では土屋と片岡、河内川では徳延の神明橋下流の左岸側の一部で護岸の整備や補修が行われた。8年度も引き続き護岸整備が進められている。

問　本市の熱中症予防の取り組みを伺う。

防災・危機管理監　クーリングシェルターの指定のほか、情報提供を行うなど、対策に努めている。

問　避難所となる小・中学校体育館のトイレや、更衣室の設置状況を伺う。

防災・危機管理監　トイレは全ての小・中学校体育館に設置しており、便器数は基準に基づき算定し、男女比は概ね男性6割、女性4割である。更衣室は小学校6校、中学校5校に設置されている。

問　小・中学校体育館のエアコン設置の状況と、今後の予定を伺う。

防災・危機管理監　大野、中原、大住中学校は、8年6月から供用開始し、ほかの中学校は9年4月から、小学校は10年4月からの供用開始を目指し、準備を進めている。

平塚市の物価高騰対策と生活支援策

問　令和7年度の物価高騰対策のうち、一般財源が占める額を伺う。

企画政策部長　重点支援地方交付金をはじめとした国からの財源を活用し、予算総額は約28億6千万円で、そのうち一般財源は約3億円となる。中小企業などに対する賃上げ応援奨励金の支給や、小・中学校などに対する給食食材費支援などの対策を講じてきた。

問　7年度の市税収入が500億円を超え、過去最高となった。市民の生活支援について検討すべきと思うが、見解を伺う。

企画政策部長　物価高騰対策は、国の動向などをしっかりと把握し、迅速かつ的確に行っていきたい。

▼このほかの質問　小・中学校の適正規模・適正配置の検討　平塚市の不登校の現実と対策について

しらさぎ・無所属クラブ 所属議員



渡部 りょう 議員



元島 しん 議員

常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。主な質疑を紹介します。

総務経済

議案５案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第67号　平塚市一般職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

問　今回、国の制度改正に伴い、災害応急作業等手当の上限額などを見直すこととなった。これまでに派遣された職員数と支給総額を伺う。

答　令和６年１月の能登半島地震において、市長部局28名、消防40名、病院４名の計72名に対し、総額45万５５６８円を支給したほか、６年度に発生した岩手県大船渡市の林野火災では、消防職員30名に対し、総額18万８５８０円を支給している。

都市建設

議案４案件は全て原案どおり可決すべきもの、請願１件は不採択とすべきものと決定しました。

○議案第75号　製造請負契約の締結について〔消防指令システム及び消防救急デジタル無線設備〕

問　消防指令システム及び、消防救急デジタル無線設備の更新が必要になった理由を伺う。

答　平成29年４月に平塚市・大磯町・二宮町共同消防指令センターが稼働し、これまで部分更新を行ってきた。24時間３６５日、安定した稼働が求められるものであり、故障リスクを回避するため、また消防を取り巻く環境の変化に対応した最新の設備を導入するため、全部更新を行うものである。

教育民生

議案５案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第76号　物品購入契約の締結について

○議案第77号　物品購入契約の締結について

問　企業版ふるさと納税の寄附金６千万円を日本・リトアニア両国の小百科の購入に充てる理由と、中学生の交流など、他事業への活用を検討したのか伺う。

答　寄附企業の意向に沿い、国際交流活動推進事業に有効活用するため決定した。小百科を広く活用することは、市民の国際感覚や意識の高揚、リトアニア共和国カウナス市との交流親善の取り組みの周知に有効と考えている。

環境厚生

議案８案件は全て原案どおり可決すべきもの、請願２件は不採択とすべきものと決定しました。

○議案第70号　平塚市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例

問　廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部改正に伴い、規定を整備するとのことだが、平塚市一般廃棄物処理基本計画及び平塚市災害廃棄物等処理計画について、改定する考えがあるのか伺う。

答　災害時において迅速な災害廃棄物の処理につなげることを目的に、一般廃棄物の処理施設の設置に係る手続きの書類添付を省略する特例を追加したものであり、計画を改定する考えはない。